

II 校務分掌・学年重点目標と達成手段

宮崎県教育基本方針		本県の教育は、あらゆる教育の場を通じ、教育基本法にうたわれている人間尊重の精神を基調として、 「たかましいからだ 豊かな心 すぐれた知性」 をそなえ、郷土に対する誇りと柔軟な国際感覚にあふれ、新たな時代を切り拓いていく気概を持ち、心身ともに調和のとれた人間の育成を目指します。					
学校経営ビジョン		自信と誇り、高い志を持つ自立した経済人の育成を目指し、地域および県民の負託にこたえる学校の創造 — 経済の変化を察知し、対応するために学び行動し、経営活動に参画する職業人の育成 —					
目指す方向性		目指す生徒像		目指す学校像		目指す教師像	
		①キャリアビジョンを描き実現できる生徒 ②都商ならではの学びを実践できる生徒 ③地域の文化・産業の発展に貢献できる生徒		④地域社会の負託にこたえる学校 ⑤自立した品格ある経済人を育む学校 ⑥高い志と人間性を育むことができる学校		⑦変化を恐れず、常に前向きな教師 ⑧学問の本質や常識を的確に指導できる教師 ⑨時代の変化や地域のニーズに敏感な教師	
評価指数 4(期待以上) 3(ほぼ期待通り) 2(やや期待を下回る) 1(改善を要する)							
校務分掌							
分掌	番号	重点目標との関連	具体的方策	評価			●今期の課題○次期必実施項目
				前期	後期	年間	
教務部	1	1-①	新学習指導要領に対応した学習評価(3観点別評価)の実施と研修	2.6	2.7	2.7	○ 2年目で昨年度よりスムーズな評価になってきている。 ○ 単元テストをする教科も増え、様々な観点からの評価が実施されつつある。 ● 教科・他教科の評価方法について情報共有を必要とする必要がある。 ● 他校の評価方法も含めて校内研修の必要性がある。
	2	1-②	クラウドツールを活用した研究授業・公開授業の設定	2.7	2.5	2.6	○ 総合訪問を含めて、多くの先生方に研究公開授業を実施してもらった。 ○ ICTスキルもレベルアップしている先生が増えてきている。 ● ICTが苦手な先生への研修やフォローが必要である。 ● 普段の業務に追われ、見学に行く先生が少なかった。
	3	1-③	「総合的な探究の時間」の体制の確立と実施	2.9	2.7	2.8	○ 探究推進委員会ができたことで、組織的な運営ができつつある。 ○ 探究推進委員は今後も継続し、会議も時間割に組み込むことが必要。 ○ 年間を通して活動することができ、来年度のひな形ができた。 ● 推進リーダーに企画をしてもらっており、負担が大きいのではないかと。
	4	4-②	効果的な情報発信の研究と実践	2.7	2.7	2.7	○ 教務内でも3人の先生が更新しているため、更新頻度が上がった。 ○ 更新日時も早く、最新情報の発信ができた。 ● 教務の担当以外でも更新できるようにする。 ● SNSを活用した情報発信の必要性を感じる。
生徒指導部	1	2-③	あらゆる場面での挨拶や礼法の徹底	2.8	3	2.9	● 学年ごとに差もあり、学校全体として徹底するまでには至らなかった。ただ、前期よりは挨拶を積極的にする生徒は増えたと感じる。 ○ 学校として人を育てるという視点での共通指導を行っていきたい。
	2	3-① 3-③	情報モラルや情報リテラシーの周知徹底	2.4	2.6	2.5	● 最後までモラルを守れないものが多かった。
	3	2-② 3-④	勉学と部活動の両立 部ごとに伝統を継承し、常に高い目標に挑戦する	2.0	2.2	2.1	● 年度途中の退部者が多く見られた。 ○ 運動部の加入率を上げる取り組みを考えなくてはならない。
進路指導部	1	1-③	キャリア教育の充実(学習活動履歴のポートフォリオ化等)	2.0	2.7	2.4	● 各学年で独自の取組が見られた。 ○ 探求の時間との整合性も含め、コンテンツの選択が課題である。
	2	2-③	生徒が主体的に進路を選択できるよう指導・助言する(常時指導)	3.0	2.9	3.0	● 1・2年生への積極的な情報提供をもとに、進路意識の向上を図れた。 ○ 進路行事だけでなく、担任・副担任・教科担任の常時指導での意識付けをお願いしたい。
	3	4-③	行政と連携した行事への高校生としての参加	3.0	2.9	3.0	● 探究活動や各部活動などを通じて、積極的なアプローチが見られた。 ○ 進路に活用できる実績だけでなく、情操教育の観点においても積極的な参加を促したい。
環境保健部	1	2-①	環境問題に係る学習の充実	2.0	2.5	2.3	● 環境問題に対する意識付けをさせたい。 ○ 保健の授業を通じて学習を行い、限りのある環境をどのように維持・改善していくかを考えさせたい。
	2	3-②	日々の清掃活動を充実させる取り組み	2.7	2.9	2.8	● 各清掃箇所の清掃用具の充実。 ● 清掃活動の取り組みの徹底 ○ 清掃の取り組みについて個人差があるため取り組めるような意識付けを行う。 ○ さらに清掃道具や清掃倉庫の管理を行い、より使いやすく必要となる清掃用具を配置できるようにしたい。
	3	3-③	防災・救急救命に関する教育の実施	3.0	2.9	2.9	● 数年ぶりに避難訓練を南消防署立ち会いのもと行った。 ○ 現実的な避難訓練が叫ばれており、避難方法などについて今後工夫が必要である。
図書渉外部	1	1-④	生徒の興味・関心に基づいた選書指導	3.0	3	3	● リクエストには最大限応えるようにしている。 ● ビブリオバトル等を通じて、本に興味を持ってもらえる機会が作れた。 ○ 適正な選書を行い、ビブリオバトルの実施時期については検討していく。
	2	3-①	図書館利用規定の周知徹底と遵守指導	3.0	3	3	● 年度当初の新入生図書館オリエンテーションをはじめ、随時図書館の適正利用については注意を促している。
	3	4-①	学校行事参加についての保護者への協力依頼 120周年に向けての準備	2.6	2.8	2.7	● 各活動の引継ぎ等が途絶えているので内容の整理を行なった。 ○ 行事の内容検討や保護者への連絡を充実していく。 ○ 120周年に向けての準備を進めていく。
事務部	1	2-① 2-④	教育環境の整備に係る点検と改善	2.7	2.8	2.8	● 空調機の故障が相次ぎ、7部屋について更新できたが、まだ故障している空調機があり、計画的に更新していく必要がある。 ○ 自転車小屋や渡り廊下の塗装修繕が必要
	2	3-③	安全管理を意識した窓口対応	2.5	2.5	2.5	● 駐車場において、陥没している部分があるため、簡易的な修理を行った。 ○ 簡易的な修繕のためすぐに陥没するため、予算要求を行い舗装工事を行ってきたい。
	3	4-④	物品等の計画的・効果的な整備	2.6	2.6	2.6	● 備品管理簿を作成し、備品の保管場所がわかるよう示すことができた。 ○ 老朽化している物品等がないか確認し、計画的に更新していく。
1学年	1	1-① 1-③	探究活動を通じて、地域と学校の連携を深め、地域の発展に貢献できる生徒を育てる。	2.9	3.4	3.1	● 小・中学校への訪問授業、市立図書館との連携授業など、地域の教育資源を活用することで地域の貢献に発展することができた ○ 職員間の情報共有と特定の職員に負担がかからないための方策
	2	2-③	商業人としての礼節やマナーを意識し、仲間と共働き実践できる態度を育てる。	2.5	3	2.7	● 規範意識の低い生徒が増えている ○ 挨拶・清掃の徹底などの常時指導、道徳教育が今後も必要
	3	3-② 3-④	部活動への加入を推進し、感謝や思いやりの心を持った人間性を育てる。	2.5	2.1	2.3	● 部活動の加入率が低い、部活動に加入していない生徒の問題行動が増えている ○ 部活動だけでなく、周囲を思いやる心を育てる機会を増やすことが必要
2学年	1	1-① 1-③	能動的で模範的な授業や生活態度を確立し、進路実現に向け具体的な活動を推進する。	2.8	2.8	2.8	● 進路希望の情報収集や資格取得などの取り組み ● 進路指導については十分だったと思えない。特に、大学工学部への進路について情報が乏しいため、生徒への情報提供ができなかった。就職・進学を含めた進路指導が必要であった。
	2	2-③	学校生活を通して、ルールやマナー遵守を常時指導する。	2.7	2.9	2.8	● 一部の生徒が服装容儀や携帯電話のルール、マナーを守れなかった。全職員で同じ指導をする必要がある。 ● 二重瞼の手術した生徒への指導が難しかった。今後、ルールやマナー・学校の校則を生徒が考え、守らせていく指導が必要。
	3	3-② 3-④	部活動や学校行事及び清掃活動を通じて、主体性を継続できる人間性を育成する。	2.8	2.8	2.8	● 生徒主体で取り組む行事や活動の実施 ● 学校行事を生徒は頑張ってきた。来年度のコーソウル都商をどうするのかを商業科と話し合いながら進めていく必要がある。 ● 先生がいないと掃除しない場面が見られる。自主性が育ちされていない。
3学年	1	2-③	日々の学習活動や行事等で主体的に行動する場面を設定し、互いに協力し合う態度を育てる	2.9	3.1	3	○ 学校行事、学年合同LHRなど、多くの場面で3年生らしく協力して主体的に取り組む姿勢が見られた。
	2	1-③	面談や具体的な活動を通じて、適切な進路選択につなげる	2.9	3.1	3	○ 面接指導や小論文指導など、先生方のご協力のおかげで、ほぼ希望通りの進路選択ができた。生徒の進路希望に応じて担当を割り振ってもらったことで、担任の負担がだいぶ軽減され、とてもありがたかった。
	3	3-② 3-④	清掃活動や部活動を通じて、周囲の方々に感謝できる豊かな人間性を育てる	2.6	2.6	2.6	○ 指示したことややるべきことは真面目に取り組むが、生徒が自ら気づき行動するところまでには至らなかった。 ○ 生徒によって清掃活動の取り組みに差がみられた。 ● 自ら考えて行動できる意識の醸成が必要。行動で示したり具体的な取り組みを考えさせたりするなど、教員側の働きかけが求められる。